

JCI-TC162A：電気化学的手法を活用した実効的維持管理手法の確立に関する研究委員会  
性能診断WG 第1回 議事録

日時：2016年9月23日 14:00-16:30

場所：JCI会議室

出席者：山口委員長，加藤幹事長，皆川主査，福山副査，金田，染谷，中村，星，宮里  
加藤（事務局）（敬称略）

配付資料

WG1-1-1：性能診断WG 活動方針（案）（2016-08-30）

WG1-1-2：土木学会 338 委員会報告書目次（抜粋）

WG1-1-3：土木学会 338 委員会報告書本文（抜粋）

WG1-1-4：性能診断WG 活動案（染谷委員提案資料）

WG1-1-5：非定常法の規準化に向けた準備について

WG1-1-6：非定常・電気泳動試験によるコンクリートの塩化物イオン浸透抵抗性の評価

議事：

1. 性能診断WG 活動方針について

WG1-1, WG1-2, WG1-3の資料に基づき，皆川主査より性能診断WGの活動方針案について説明がなされた。また，WG1-4・WG1-5の資料について，それぞれ染谷委員・中村委員より説明がなされた。

- 基本的にWG1-1の資料に沿って活動を進めることが承認された。
- I.各種点検・モニタリング手法における電気化学的計測手法の位置付けと留意点の整理について，下記の意見が出された。
  - Iの手法の使い分けの整理については，土研および港空研にケーススタディーができるような構造物の事例を提供して頂き，その事例で図上演習をしながら進める。最終的には選定方法のフローチャートを成果物としたい。
  - 使い分けの整理については，WG1-1-2, WG1-1-3の資料が参考になる。
  - モニタリング的な（同位置で計測し続ける）使い方については，変化の要因（環境条件の影響など）が整理できるとよい。
  - 各測定法の不明確な要因については，鉄筋径や含水率を一定にしたモデル実験が必要である。
  - どのような条件で，どのような結果が得られる傾向があるのかを明示する。
  - コンクリート種類，環境条件，機械の仕様の組合せで手順を決められるようにする必要がある。
  - IIの分担について，染谷・星の両委員は分極抵抗法も担当する。

2. 話題提供

- 中村委員より，WG1-6の資料を用いて，非定常・電気泳動試験法の説明があった。

3. その他

次回WG日程：12月12日（月）9:00-12:00

以上